



成果報告書
— 08.7～09.6 —



2009. 6. 30

〔活動報告〕

1. 設立総会・設立記念シンポジウム (08年)

7月19日(土)の設立総会では、設立宣言や事業計画・予算、役員体制などを確認、「シティ・ラボ・うつのみや(以下、ラボ)」が船出しました。

引き続き、開催された設立記念シンポジウムでは、作新学院大学教授の沼田良さん(ラボ理事長)が、独自の地域自治制度など宇都宮合併の検証や市民協働のまちづくり、その中での自治体職員の役割などをテーマに基調講演。

また、パネルディスカッション「前代未聞の官民協働体…事例で探る「シティ・ラボ」のユメとカタチ」では、「宮まちづくりネットワーク」代表世話人の坂本安男さん(ラボ副理事長)、家族相談所「エコーズ」代表の阿部美代子さん(ラボ副理事長)、美容師で元プロボクサー、非行更生塾主宰など多彩な顔を持つ、ん太郎さん、作新学院大学教授の沼田良さん(ラボ理事長)が、これまで取り組んできた活動を振り返りながら、市民と行政との関わりや感じてきた壁、市民と行政をつなぐ存在としてのラボへの期待など持論を展開しました。コーディネーターは、ラボ事務局長の郷間康久さんが務めました。



終了後には設立パーティーも開かれ、福田富一県知事、佐藤栄一市長も激励に駆けつけていただくなど、参加者が交流を深めながら、船出を祝いました。

2. 小中学生による「近未来5種体験」事業に協力

9月27日(土)、坂本副理事長が代表世話人を務める市民団体:宮まちづくりネットワーク主催のバリアフリー体験事業「近未来5種体験イベント」に、当ラボが共催団体として商店街バリアチェック部門に協力しました。

高齢者疑似体験装備(強制負荷グッズ)や視覚障がい、肢体不自由体験用の器具を身につけた小中学生に、郷間事務局長が商店街歩道に設営した各種バリア(点字妨害自転車、水たまり、ボール、倒伏看板など)を通過してもらい、どんな苦労や不安があったかを検証してもらいました。

その感想や検証結果は、後日商店街各店に報告され、中心市街地におけるユニバーサルデザインの必要性を実証提案することができました。

3. トラックの日感謝デーで啓発活動

10月5日(日)、栃木県トラック協会が主催し、市農林公園ろまんちっく村で開かれた「第17回トラックの日感謝デー」のイベントに「宮まちづくりネットワーク」とともに参加しました。市が開設した「廃食用油回収リサイクルコーナー」で、家庭から出た使用済及び賞味期限切れの食用油を回収するとともに、漏斗(じょうご)を無料で参加者に配布し、廃食用油の回収とリサイクルを呼びかけました。コーナーでは家庭から出た使用済の食用油等を回収して精製されたバイオ・ディーゼル燃料で走る収集車も展示されました。

4. 市内繁華街で「落書き決し隊」プロジェクトに参加

市が08年度から始めた「協働事業提案制度(※NPO法人や市民団体から、市民と市が協働で実践する事業の企画提案を募り、採用事業に最高50万円交付)」に「宮まちづくりネットワーク」と共同で応募し、第1号として採用されました。

中心市街地にあるオリオン通りとユニオン通りには、心ない人たちの手による悪質な落書きが目立ち、まちの景観を損なっています。これを市民の手で消して、きれいな街並みを取り戻そうという行動です。「落書き決し隊」プロジェクトの様子は下野新聞などでも報道されました。

行動前段の10月25日(土)には、地元の西小や旭中、一条中の児童・生徒と保護者、先生が、実際に両通りを歩き、落書き場所をチェックするワークショップを実施、地元の日成塗料(株)の仲山栄一社長によるスプレーを使った落書き消しの講習も行われました。当日は、参加者に新米を使ったおにぎりや豚汁も振舞われ、宇職労河内支部の給食調理員さん2名がボランティアで炊き出しに協力いただきました。





また、11月8日（土）の本番では、児童・生徒、保護者、先生、ラボ会員ら約160名が参加し、プロジェクトを遂行。3～4人一組で部隊をつくり、オリオン通りからユニオン通りのアーケードの柱、自動販売機、ガラス類、スチール製の金属等にかかれた落書きを約1時間半をかけて丹念に消していきました。



多くの児童・生徒たちが、街の様子を観察しながら、楽しんで落書きを消し、また、それを見た商店街の関係者や市民からの感謝やコミュニケーションは、貴重な思い出となりました。ある中学生は、「落書き消しがこんなに楽しいと思わなかった。他校の生徒や市民のみなさんと気軽に話せたことも嬉しい。でも、落書きはもうしないで欲しいです」と感想を話してくれました。



5. 公募でラボのロゴマークを決定、表彰式（09年）



ラボのイメージにふさわしいロゴマークを市民協働でつくろうと公募で呼びかけ、応募作品を審査した結果、作新学院高校デザイン科3年生（当時）の亀和田歩さんの作品を採用することを決めました。

1月21日（水）には作新学院大学で授賞式を行い、亀和田さんには理事長賞として表彰状と副賞が、次点の若槻英恵さんには感謝状と副賞が、沼田理事長より手渡しされました。

採用された亀和田さんは、「宇都宮の妖精をモチーフに、楽しそうにみんなで話し合いをしながら、何かをつくり出すイメージを表現してみました」と作品のコンセプトを話してくれました。沼田理事長は「宇都宮のまちを良くするため、創造し行動していくラボの設立理念にピッタリ」とマークの決定を喜びました。今後は、印刷物などに活用していきます。

6. 活動日誌

（2008年）

- 7月19日 設立総会・設立記念シンポジウム・設立パーティ（H・ニュー・イタヤ）
- 9月 日 （オリオンスクエア）
- 10月 5日 トラックの日感謝デー（ろまんちっく村）
- 10月23日 事務局会議（宇職労事務所）
- 10月25日 「落書き決し隊」ワークショップ（市総合福祉センター）
- 11月 8日 「落書き決し隊」プロジェクト（市総合福祉センター）

（2009年）

- 1月19日 事務局会議（宇職労事務所）
- 1月21日 ロゴ・マーク表彰式（作新学院大学）
- 2月16日 事務局会議（宇職労事務所）
- 2月25日 企画運営委員会（宇職労事務所）

7. シティ・ラボ「ネーム・ロゴ」を独自にデザイン

先に採用を決定した当グループのシンボルマークを基本として、2種類の名称ロゴを作成いたしました。一つは、名称の単独デザインで、色彩は、どんな印刷物にも対応できるモノカラーとし「冷静に考える瞳」を文字の中に表現しました。もう一つは、シンボルマークとの合体型で、カラーの表紙やウェブ上でも均整が図れるようブルーを基調としたデザインとなりました。

